

# 「僕は食べれるよ」

経管栄養から経口摂取へ！

生きる為の楽しみをチームの連携で支援

社会福祉法人 函要会  
特別養護老人ホーム 葦山・ぶなの森  
介護：鈴木 ルミ 看護：奥脇 裕子

1

## 1. 経口摂取を目指したきっかけ

Aさんの入居事前面談での様子  
(生活相談員にて面談)

ご家族の想いを聞く

- ・ 要介護 4
- ・ 3食経管栄養
- ・ 痰吸引が必要(3~4回/日)
- ・ 認知症
- ・ ADL全介助
- ・ 嚥下訓練したが経口摂取困難
- ・ 誤嚥性肺炎のリスクが高い
- ・ **発語がある**

食事を摂ることができなくなり、長く生きてほしいという想いから経管栄養を選択しました。ただ、食べるのが大好きだった主人が食べられなくなり、このまま楽しみもなく人生を送る事に悩んでいます。

できれば少しでも味わう楽しみが持てればと願っています。

2

## 2. R6.7.11 入居 担当者会議にて

### 目標

- ・ 経口から食事の摂取ができ、味わう事に楽しみが持てる
- ・ 右手を使用し自分で食べることができる

### ニーズ

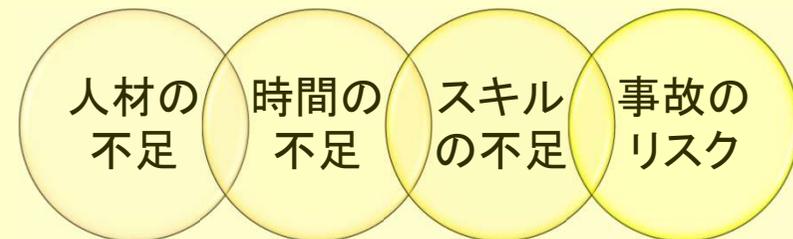
- ・ 右手を使う訓練をする
- ・ 日々の発声練習ができる
- ・ 体調の維持ができる
- ・ レク活動や他者との関わりから楽しみを持つ

### デマンド

- ・ 少しでもいいから味わいのある食事をしたい
- ・ 右手を使って作業をしたい
- ・ 意欲をもって生きてほしい
- ・ 笑顔多くいてほしい

3

## 3. 個別支援をしていくにあたっての課題



4

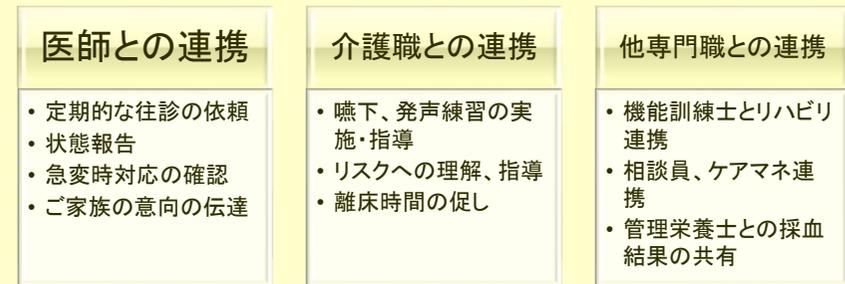
### 4.課題に対する解決策



5

### 5.チームの役割

#### 看護師チーム



6

### 介護職チーム

放課後デイサービスの子供たちとの交流

運動会の開催

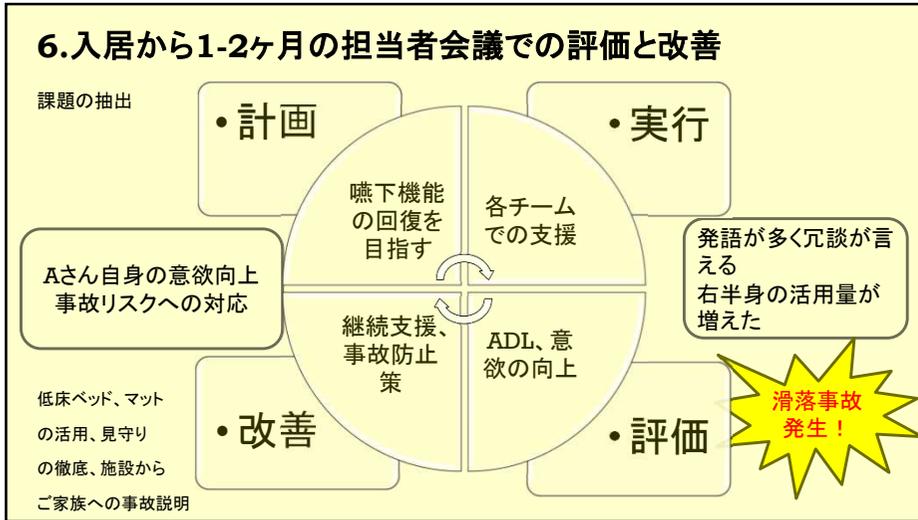
- ・日々の通常支援
- ・離床時間の確保
- ・会話の提供
- ・レクリエーションの提供
- ・口腔ケアの徹底
- ・身体の状態観察

7

### その他専門職



8



9

### 7.チーム会議

経口摂取に向けたチーム会議を開催

抽出した課題から、ご家族の想いと職員の想いを共有し、リスクも含めた会議を行いました。

10

### 看護師による発声練習、アイスマッサージ

点数	水飲み、フードテスト評価基準
1	嚥下無し、咽or. and呼吸促進(慢性誤嚥、不偏性誤嚥)
2	嚥下あり、呼吸促進(不偏性誤嚥疑う)
3	嚥下あり、呼吸良好、咽and,or湿性嘔声(誤嚥リスクあり)
4	嚥下あり。呼吸良好、むせない
5	4に加え反復唾液嚥下が30秒以内に2回可能

11

### トロミ水での嚥下訓練

訓練終了後の言葉がけ

12

## 目標達成！！



13

## 8. 目標達成後の成果



14

## 8. まとめ

目標達成による職員のモチベーションアップ

個別ケアの大切さを知る事でのスキルアップ

業務や作業の工夫による効率性を考えられる

ご家族との信頼関係、安心して任せられる施設へ

15

## ご清聴ありがとうございました！！



16